

関市の魅力を 名古屋圏へ



名古屋市近郊の旅行会社やマスコミ各社を対象とした「刃物と鵜飼の観光懇談会」が名古屋観光ホテルで開催されました。関市の観光資源や特産品などを情報発信し、誘客を図るのが狙いのこの懇談会

では、小瀬鵜飼の足立太一鵜匠や関伝日本刀鍛錬技術保存会刀匠会長の丹羽清吾刀匠が解説などを行ったり、関市の特産品や食材を知ってもらうための交流会が開かれ、関市の魅力が広くPRされました。

あんな事、こんな事



皆さんに感謝

6月末に(社)日本下水道協会の名誉会員になった前市長の後藤昭夫さんが市役所を訪問し、市長に報告しました。後藤さんは昭和26年に関市役所に入庁して以来、市の下水道事業の普及発展に尽力され、市長在職中は同協会の理事を務められました。後藤さんは「関の下水道普及整備は、みんなの力で進めてきたもの。皆さんに感謝し、この名誉を汚さぬようこれからも務めていきます」と話していました。

自分たちの身は自分たちで守る

洞戸菅谷・下菅谷自治会の住民で組織する菅谷自主防災会の防災訓練が行われ、尾藤市長が視察に訪れました。高齢化が進む同地区では、災害に備えて住民リストを作成したり、個人の所有する重機や資機材を提供したりするなど、地域が一丸となって防災に取り組んでいます。こうした地域住民の絆や助け合いが、いざというとき最も重要です。





郷土を流れる川を調べよう

岐阜県博物館主催の県民参加型調査研究事業「自河自賛プロジェクト」として、洞戸地域の板取川でカワゲラウォッチングが行われ、多くの親子連れなどが参加しました。この事業は第30回全国豊かな海づくり大会の協賛行事として、来年度開催の特別展に向けて、県内6カ所の河川を7日間に分けて調査します。洞戸ではNPO法人洞戸村ふるさと塾の共催で行われ、11月7日(土)には同地域で川原の石の調査が行われます。

一面に広がるコスモスを楽しみに

小屋名の休耕田で、金竜小学校3年生と、地元有志で作る「西部地区を美しくする会」の会員によってコスモスの種まきが行われました。同会の岡田充宏会長のあいさつの後、児童らは種を均等にまくために等間隔に並んで、一斉に空へ向かって投げるようにまきました。コスモスは10月中旬ごろに見ごろを迎え、10月25～26日には、同会主催でコスモス祭りが開催されます。



おすもうさんに負けないぞ！

名古屋場所を前に、松浜保育園に湊部屋の立田川孝行親方と力士の仲の国さん、濱湊さんが訪れ、園児らと相撲をとって楽しいひとときを過ごしました。園庭に作られた土俵の周りに園児らが集まり、行司の「はっけよい、のこった！」で、上半身裸のちびっこ力士が一斉に力士に飛び掛かりました。楽しい取り組みのあと、力士と一緒に記念写真を撮りました。

生き物調べて水質調査

武芸小学校3年生が、同校の近くを流れる武儀川でカワゲラウォッチングを行い、そこにすむ水生生物を調査しました。県博物館学芸員の指導で、児童らはたも網を持って川の中に入り、川底の石の下や草が生い茂る水際に隠れている生き物を探りました。約20種類の生き物が確認でき、水質別に分類した結果、この流域の水質はきれいであることがわかりました。



こぼれ話



2011年(平成23年)7月24日に今までのテレビ放送(アナログ放送)が終了し、地上デジタル放送に完全に移行します。デジタル放送は従来のアナログ放送と比較して、ハイビジョンというとてもきれいな映像でゴースト(二重映り)などもなく、音声もCDのように高品質です。データ放送も行われており、リモコンの「d」ボタンを押すと、本放送の画面が小さくなって、空いたスペースにニュースや天気予報などの情報が表示され、いつでも見ることができます。またEPG(電子番組ガイド)という1週間先までの番組表も提供されて

いて、画面上で録画や視聴予約を簡単に行うことができます。

なぜデジタル化がされるのでしょうか?きれいな映像や音声、便利以外にデジタル化によって番組データを圧縮することができます。その結果、テレビ放送で使用する電波帯域の大幅な節約が可能となり、余った帯域を他の用途に割り当てることで、電波を有効に利用することができるということだそうです。「限りある資源」というのは電波にも当てはまる言葉だったのですね。※地上デジタルテレビ放送に関連した詐欺事件も発生していますので、ご注意ください。